

下肢動脈形成術を受けられる患者さんへ

想定診断群(DPC):050170

()様

主治医:

担当看護師:

月日	／	／	／	／	
経過	入院日	治療前	治療後	1日目	退院日
注射薬	・現在飲んでいるお薬を入院期間分お持ちください	・現在のお薬を続けて飲んでください ・治療に行く前に点滴をします	・検査・治療が終わったら点滴は外します		・現在のお薬を続けて飲んでください ・退院薬があればお渡しします
処置	・治療で針を刺すところは、 <input type="checkbox"/> () 腕(手首・肘) <input type="checkbox"/> () 足のそけい部 です ・そけい部からの場合は、必要な部位の除毛を行い、足の甲の拍動があるところにマジックで印をつけます	・心臓カテーテル治療は () 番目の予定です ・検査着に着替えます ・そけい部から治療の場合は、T字帯または紙オムツ(開き)をつけます	・病室に帰って3～6時間後、治療で針を刺したところの血が止まっていることを確認してから、圧迫を取り除きます ・取り除く時間は状態により異なるので、病室に帰ってから説明します		
検査	・必要に応じて心電図検査、血液検査、レントゲン検査などを行います ・ネームバンドをつけます ・身長・体重を測ります	・ネームバンドを確認します	・検査は特にありません 	・検査は特にありません	・検査は特にありません ・ネームバンドをはずします
観察	・体温・脈拍・血圧などを測ります				
活動安静	・できるだけ病棟内でお過ごしください ・外出・外泊はできません	・できるだけ病棟内でお過ごしください ・カテーテル室へは <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> ベッド で行きます	<input type="checkbox"/> 手から治療の方は、針を刺した方の腕を曲げないようにできるだけベッド上で過ごしてください ・手首からの方は肘を曲げても構いません ・肘からの方は手首を曲げても構いません <input type="checkbox"/> そけい部から治療の方は、圧迫が取れるまで針を刺した方の足を伸ばしたままベッド上で過ごしてください ・動くことができるようになった後は、病棟内でお過ごしください	・透析があります	・退院まではできるだけ病棟内でお過ごしください
食事	・治療に応じた食事が夕食から出ます	・治療予定時間の1時間前より食べたり飲んだりできません	・治療後、1時間たてば食事ができます ・そけい部から治療の方は寝たままの食事にあります ・水分は治療のすぐ後から飲むことができます		・朝食まで食事ができます
清潔	・入浴・シャワー浴ができます ・そけい部からは除毛の後にお入りください	・入浴・シャワー浴はできません		・シャワー浴ができます	・退院後から入浴できます
排泄	・制限はありません ・病棟内のトイレをご利用ください	・治療に行く前に尿を済ませておいてください	<input type="checkbox"/> 手から治療の方は、歩いてトイレに行けます <input type="checkbox"/> そけい部から治療の方は、圧迫が取れるまではベッド上で尿や便をします ・圧迫を取り除いた後は、制限はありません	・制限はありません	・制限はありません
説明	・主治医・看護師より入院診療計画書・治療・入院生活について説明があります ・医師からの説明はお待たせすることがあります ・ご了承ください		・治療の結果と、お薬・退院後の生活について主治医より説明があります		
その他	・入院や検査・治療に必要な同意書類などは内容を確認し、署名後看護師にお渡しください ・T字帯は病棟で用意できます ・必要な方は開きオムツを持参または入院後レンタルしてください		・概算をお知りになりたい方は事前にお知らせください		・入院費用の精算は、当日担当者が説明に来ます (土日・祝日は前日に担当者が来ます) ・看護師から退院の説明を受けた後、1階で手続きを行ってください

★病状や経過によっては予定が変更されることがあります

イラストはMPCのイラスト集より転載